

国立高度専門医療研究センターにおける先進医療・高度医療の実績

(平成23年度)

(単位:円)

法人名		先進医療・高度医療の名称	23年度 症例数	先進医療・高度医療1件に係る収入			備考
				保険適用	保険適用外	合計	
がん	中央病院	内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	125例	190,232	200,000	390,232	24年度から保険適用
		人工括約筋を用いた尿失禁手術	3例	478,727	1,655,600	2,134,327	24年度から保険適用
		経皮的乳がんラジオ派焼灼法 早期乳がん	7例	285,267	147,000	432,267	
		経皮的肺がんラジオ派焼灼法 原発性又は転移性肺がん (切除が困難なものに限る)	1例	224,070	147,000	371,070	
		網膜芽細胞腫の遺伝子診断(発端者の場合)	1例	700	150,900	151,600	
	東病院	経皮的乳がんラジオ派焼灼法 早期乳がん	4例	352,973	156,000	508,973	
		陽子線治療	200例	125,784	2,883,000	3,008,784	
		内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	49例	177,749	200,000	377,749	24年度から保険適用
循環器		胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	5例	1,719,330	60,980	1,780,310	24年度から保険適用
		経胎盤的抗不整脈薬投与療法(胎児頻脈性不整脈)	2例	1,127,588	18,120	1,145,708	
		凍結保存同種組織を用いた外科治療	1例	4,602,846	608,913	5,211,759	
精神		光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	270例	117,090	13,300	130,390	

国立高度専門医療研究センターにおける先進医療・高度医療の実績

(平成23年度)

(単位:円)

法人名	先進医療・高度医療の名称	23年度 症例数	先進医療・高度医療1件に係る収入			備考
			保険適用	保険適用外	合計	
国際	内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	34例	206,302	167,000	373,302	24年度から保険適用
	超音波骨折治療法	13例	101,985	9,900	111,885	24年度から保険適用
成育	一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	52例	2,769,669	431,438	3,201,107	24年度から保険適用
	胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	8例	1,613,420	91,801	1,705,221	24年度から保険適用
長寿	定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	8例	405,951	29,000	434,951	

※1 平成20年4月に制定した先進医療と高度医療は、平成24年10月から先進医療に統合

※2 金額(保険適用)は厚生局に申請している金額、又は患者一人当たりの平均額

先進医療の概要

先進医療(告示 厚生労働大臣の定める評価療養及び選定療養)

○ 先進医療ごとに別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院又は診療所において行われるものに限定

先進医療A

- 以下の医療技術を取り扱う
 - 1 未承認等の医薬品若しくは医療機器の使用又は医薬品若しくは医療機器の適応外使用を伴わない医療技術(先進医療Bに掲げるものを除く。)
 - 2 以下のような医療技術であって、当該検査薬等の使用による人体への影響が極めて小さいもの
 - (1)未承認等の体外診断薬の使用又は体外診断薬の適応外使用を伴う医療技術
 - (2)未承認等の検査薬の使用又は検査薬の適応外使用を伴う医療技術
- 先進医療ごとに設定された施設基準に該当する保険医療機関の届出により施行可能

先進医療B

- 以下の医療技術を取り扱う
 - 3 未承認等の医薬品若しくは医療機器の使用又は医薬品若しくは医療機器の適応外使用を伴う医療技術(先進医療Aに掲げるものを除く。)
 - 4 未承認等の医薬品若しくは医療機器の使用又は医薬品若しくは医療機器の適応外使用を伴わない医療技術であって、当該医療技術の安全性、有効性等に鑑み、その実施に係り、実施環境、技術の効果等について特に重点的な観察・評価を要するものと判断されるもの。
- 薬事法による申請等に繋がる科学的評価可能なデータ収集の迅速化を図ることを目的とし、先進医療技術審査部会にて医療機関が設定した試験計画(予定の試験期間及び症例数、モニタリング体制及び実施方法等)を評価
- 適切に実施できる体制を整えているものとして保険医療機関が厚生労働大臣に個別に認められることにより施行可能

先進医療の医療保険制度上の位置付け

健康保険法第63条第2項第3号

「厚生労働大臣が定める高度の医療技術を用いた療養その他の療養であって、前項の給付の対象とすべきものであるか否かについて、適正な医療の効率的な提供を図る観点から評価を行うことが必要な療養として厚生労働大臣が定めるもの（以下「評価療養」という。）」（保険併用が可能な療養）

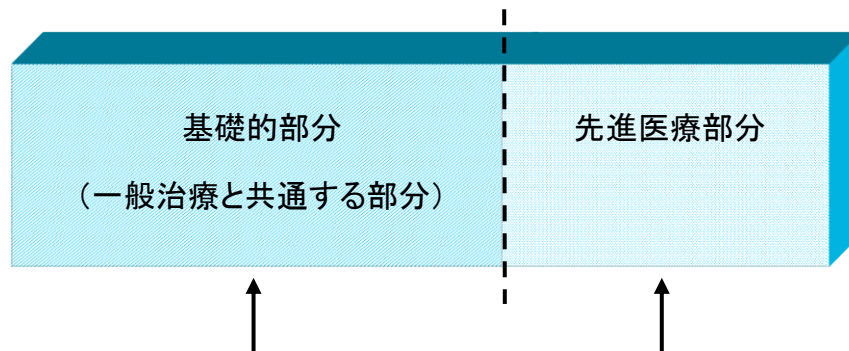
評価療養の種類（告示 厚生労働大臣の定める評価療養及び選定療養）

A 先進医療

- B 医薬品の治験に係る診療
- C 医療機器の治験に係る診療
- D 薬価基準収載前の承認医薬品の投与
- E 保険収載前の承認医療機器の使用
- F 医薬品の適応外使用（公知申請されたもの）
- G 医療機器の適応外使用（公知申請されたもの）

保険外併用療法の仕組み

[先進医療の場合]



保険外併用療養費として
医療保険で給付

患者自己負担

※ 保険外併用療養費においては、患者から料金徴収する際の要件（料金の揭示等）を明確に定めている。

平成24年11月1日現在

実施している医療機関 の名称	適応症	先進医療技術名
国立がん研究センター 中央病院	網膜芽細胞腫の患者又は遺伝性網膜芽細胞腫の患者の血族に係るもの	網膜芽細胞腫の遺伝子診断
	原発性又は転移性肺がん(切除が困難なものに限る。)	経皮的肺がんラジオ波焼灼療法原発性又は転移性肺がん(切除が困難なものに限る。)
	早期乳がん	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法早期乳がん
	原発性又は転移性腎がん(切除が困難なものに限る。)	経皮的腎がんラジオ波焼灼療法原発性又は転移性腎がん(切除が困難なものに限る。)
	転移性骨腫瘍(既存の治療法により制御不良なものに限る。)	CT透視ガイド下経皮的骨腫瘍ラジオ波焼灼療法転移性骨腫瘍(既存の治療法により制御不良なものに限る。)
	再発卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)
	神経症状を呈する脳放射線壊死(脳腫瘍又は隣接する組織の腫瘍に対する放射線治療後のものに限る。)	神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びベバシズマブ静脈内投与療法神経症状を呈する脳放射線壊死(脳腫瘍又は隣接する組織の腫瘍に対する放射線治療後のものに限る。)
	原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)
国立がん研究センター 東病院	限局性固形がん	陽子線治療
	早期乳がん	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法早期乳がん
	原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)
	肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)
国立循環器病研究センター	心臓弁又は血管を移植する手術(組織の凍結保存を同一施設内で行うものに限る。)	凍結保存同種組織を用いた外科治療
	閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	骨髄細胞移植による血管新生療法
	慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療及び外科的治療が無効であるものに限り、三年以内に悪性新生物の既往歴を有する者又は未治療の糖尿病性網膜症である者に係るものを除く。)	末梢血単核球移植による血管再生治療
	胎児閉塞性尿路疾患	胎児尿路・羊水腔シャント術胎児閉塞性尿路疾患
	胎児頻脈性不整脈(胎児の心拍数が毎分百八十以上で持続する心房粗動又は上室性頻拍に限る。)	経胎盤的抗不整脈薬投与療法胎児頻脈性不整脈(胎児の心拍数が毎分百八十以上で持続する心房粗動又は上室性頻拍に限る。)
	急性心筋梗塞(再灌流療法の成功したものに限る。)	急性心筋梗塞に対するエポエチンベータ投与療法 急性心筋梗塞(再灌流療法の成功したものに限る。)

平成24年11月1日現在

実施している医療機関の名称	適応症	先進医療技術名
国立精神・神経医療研究センター	ICD－10においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病であることが強く疑われるうつ症状(器質的疾患に起因するものを除く。)	光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助
国立国際医療研究センター病院	骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷	実物大臓器立体モデルによる手術支援
	急性リンパ性白血病(ALL)又は非ホジキンリンパ腫(NHL)であって初発時に骨髄浸潤を認めるリンパ芽球性リンパ腫若しくはバーキットリン	(2)(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関)急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定
国立国際医療研究センター国府台病院	C型慢性肝炎(インターフェロン・リバビリン併用療法による効果が見込まれるものに限る。)	IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価
国立成育医療研究センター	胎児閉塞性尿路疾患	胎児尿路・羊水腔シャント術胎児閉塞性尿路疾患
	胎児頻脈性不整脈(胎児の心拍数が毎分百八十以上で持続する心房粗動又は上室性頻拍に限る。)	経胎盤的抗不整脈薬投与療法胎児頻脈性不整脈(胎児の心拍数が毎分百八十以上で持続する心房粗動又は上室性頻拍に限る。)
国立長寿医療研究センター	骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後のもの	定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価